

アノミカド

「いくらでもいける」と思った大好物でも、食べ過ぎると見たくなくなる。

はっさくは、ミカンとグレープフルーツの間というか、ちようどいい甘さやから好きなんです。小さい頃からずっと食べます。でも、食べるの大変ですよ。皮、めっちゃ硬いですし。中の皮まで分厚いやないですか。むくのがめんどくさい。でも、しつかりした皮を手間ひまかけてむいたあとのご褒美ですね。ほかの柑橘類と比べて、実がギュッと詰まっているのもうまさのひとつやと思います。

もつとうまい食べ方はないかな、と模索したこともありまして、一度、ひと房をさらにひと粒ずつバラバラにしてみました。一時間半かけてひと玉分をバラバラにしたら、「ご飯粒みたいやん！」と気付きました。茶碗に盛り付けてみたんです。それはもう、ひと粒ずつが輝いて、まるで「黄金の米」のようでした。夢中がかき込みましたね。でも、手間がかかるわりには果汁の味が分散してしまい、やっぱり房のままのほうがうまいかな。

そんな僕に知人が、広島でやってくる「はっさくの木のオーナー

制度」というのをプレゼントしてくれました。はっさくの収穫期になると、権利を買った木に実ったはっさくを替わりに送ってくれるんです。うれしくて、一気に七玉食べたりもしましたね。一日中、はっさくしか食べない日もあって、そのとき食べたのは十五玉ぐらいかな。次のはっさくシーズンが待ち遠しいです。

将来は、はっさくの木と生活したいですね。そして、方法はわからないですが、品種改良もしたいです。はっさく十ばんべいゆなんて、スイカみたいなはっさくを作りたい。できるかなあ？

m

銀シャリ・鰻 はっさくを愛しすぎて オーナー制度を使う

シーズンになると1日12玉は食べるという、無類のはっさく好き、銀シャリ・鰻。ついにはっさくの木のオーナー制度まで活用とは!? その深い愛を聞いた。

取材・文＝中野純子 撮影＝佐藤純子

オーナー制度とは?

広島・江田島を盛り上げるため、NPO法人「輝き未来の島」が実施している、各種オーナー制度。収穫状況や都合により変動があるので、要問い合わせ

☞「はっさくのオーナー制度」

契約書を交わし、該当する木に鑑札を付け、オーナーの希望があればいつでも木を観察に行ける／オーナー権利金：1木6000円／権利の行使時期：12月以降、希望する時期に何度でも可能

▼まだある!オーナー制度▼

☞「みかんのオーナー制度」

オーナー権利金 1木8000円～ほか、詳細ははっさくと同様

☞「牡蠣」のオーナー制度

産地直送の安くて新鮮な殻付き牡蠣を200個提供。契約を交わし、該当いかに鑑札を付け、希望があればいつでもいかに鑑札に行ける／オーナー権利：金つる1本（浜揚げ時約200個の見込み）12000円／権利の行使時期：牡蠣の一番おいしい2月

☞「自然放牧豚」のオーナー権利

ストレスのない理想的な飼育方法で育った良質でヘルシーな豚肉が手に入る。契約を交わしたあとは、希望すればいつでも自分の豚を観察に行くことができる／オーナー権利金：各部位が楽しめる1口5kg単位15000円、または1口100g単位250～350円／権利の行使時期：随時

問い合わせ

NPO法人 輝き未来の島事務局
☎0823-42-0645 / URL <http://www.enou-npo.org/>



銀シャリ・鰻

83年8月31日生まれ、大阪府出身。橋本直と05年コンビ結成。8月25日（木）、企画ライブ『銀シャリ presents「さきどり秋の収穫祭」』開催

銀シャリ・鰻はみだし情報

はっさくの房を傷つけず、外皮と内皮が同時にむけるマシンを開発したいらしい。